

高岡ロータリークラブ

2023/6/15

会長／谷道 伸也 幹事／島 尚之

イマジン ロータリー

No.43

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 勝山 会場監督 点鐘 谷道 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト並びにビジター

<ゲスト>

ガバナー補佐 花木 直二 様 (新湊中央 RC)

(株) アジア・メディアプロモーション

代表取締役 渡邊 竜一 様

<ビジター>

鍋島 範和 様 (高岡西 RC)

<幹事ゲスト>

読売新聞北陸支社 支社長 遠田 昌明 様

会長挨拶／報告

◇誕生祝

- ・千田 祐司さん (6/15・54才)
- ・山本 政則さん (6/18・54才)
- ・山本 毅さん (6/20・70才)
- ・河村 拓栄さん (6/24・64才)
- ・福田 剛平さん (6/29・50才)



◇本日ご入会の新入会員にバッチ他贈呈

- ・中山 士門様… 車会員から紹介
新入会員の入会挨拶
- ・小瀬 智之様… 島会員から紹介
新入会員の入会挨拶

幹事報告

◇4番テーブルミーティング

⇒本日 18:00～ フォーシーズン

◇5番テーブルミーティング

⇒本日 18:30～ クラフトン

◇6番テーブルミーティング

⇒本日 18:30～ アオラキ

送迎利用の方は 18:15HN オータニ高岡集合

◇クラブ定款細則の改正について

クラブ定款細則の改定について例会にて

議案の賛否…承認

< ニコニコBOX10件 38,000円 >

- 花木ガバナー補佐／1年間、大変お世話になり有難うございました。
- 谷道会長／本日の卓話をいただきます渡邊竜一様、本年度最後の通常例会の卓話をお引き受けいただき有難うございます。卓話楽しみにしております。ガバナー補佐花木様、4度目のご訪問有難うございます。新入会員の中山さん、小瀬さん入会おめでとうございます。遠田さん、幹事ゲストにおいていただき有難うございます。会員の皆様のおかげで、今年度最後の通常例会を迎えることができました。感謝申し上げます。
- 塩崎副会長／渡邊様ようこそ高岡 RC へ。卓話よろしく申し上げます。花木ガバナー補佐お世話ありがとうございます。1年間、お疲れ様でした。
- 島幹事／いよいよ最後の通常例会になりました。残すは来週の最終夜間例会のみ。みなさんありがとうございました。渡邊竜一様、本日の卓話よろしく申し上げます。遠田昌明様、高岡 RC へようこそ！中山さん、小瀬さんロータリークラブライフを楽しんでください。
- 中村君／中山士門さんの入会を歓迎して。ホームクラブの欠席が続きお詫び
- 藤田君／19.20日と金屋町において前田利長公を偲ぶ御印祭が4年ぶりに開催されます。皆様お越しく下さい。
- 四津谷君／5/28黒部名水マラソン4時間39分でした。6/4グランフォト2023ロードバイク180km3時にゴールおそらくトップでした。因みにガンダムです。7月には上市32km出ます。あと昨日BBT PM7:00「富山県移住推進大臣東野幸治」瑞龍寺でます。
- 千田君／誕生祝ありがとうございます。ゆうかメロンご予約お待ちしております。
- 福田君／お誕生祝ありがとうございます。

●山本（政）君／誕生日祝ありがとうございます。お久しぶりです。

プログラム

卓話

『メディアと金融、行政と連携した

参加型のまちづくり』

渡邊 竜一様



自己紹介～観光情報誌「じゃらん」編集から、映画・ドラマのロケによる地方活性化を目指す情報誌の創刊、そして行政の観光振興プラン策定や地銀の地方創生担当理事を経験。メディアと行政、金融の立場を経験。その中で、「じゃらん」編集のコンセプトである“目的別編集”という考え方に触れたことは社会人スタート時のいい経験となった。それは、観光の情報発信が地域ありきのプロダクトアウトであったのを読者の観光ニーズ目線に合わせて情報提供をしたことである。たとえば「さくらんぼ狩り」に行くなら場所は栃木でも伊豆でもいい。これこそマーケットインの観光といえる。それに関連して観光の情報発信は、きめ細やかにターゲット設定をすることが大切である。いわゆるペルソナ設定である。

また、メディアの効果を引き出すためにコンテンツを上手く活用するのも必要。関西の京阪電鉄グループのホテルのプロモーションを担当した際、価格や立地、部屋の広さや内装などに他社と特段の差別化要因がないことを知り、京都へのビジネス利用がメインであり、かつ3～50代の男性ビジネスマンをターゲットとしている点から、「サラリーマン金太郎」をキャラクターに採用し、様々なメディアでプロモーションを展開。稼働率・客室単価で目標値を大きく超える成果を挙げた。これらの経験を地方創生で展開しようと考えた際、映画製作のプロセスを町ぐるみで参加して行うのはどうかということに行きついた。

地方における映画というキーワードと楽しみながら参加できそうというイメージも相まって、まちづくりに積極的な参加が見込める。また、製作資金調達には、地元の金融機関、商工団体が連携して協力。メディアには、企画段階から制作プロセスを取材してもらい、行政にはプロジェクトの信用UPと広報を担ってもらおう。そうやって“自分の作品”と感じてもらおう人を地元で一人でも増やす試みを続けている。

こうした地域が一体となった取り組みとするためには、

地元キーマンがいることが大切だが、そのキーマンの動きにかかわりを持つ金融・メディア・行政が同じベクトルで支えるということもプロジェクトの成功にとって重要である。楽しみながら地域を再発見し、メディアを通じて広く賛同してもらおう。映画製作のプロセスを活用したまちづくりには、そういった効果があると思いきり活動してきた。

今後は、メディアやコンテンツの在り方が大きく変わってきたので、ゲームかもしれないアニメかもしれないと考えている。

<理事会報告>

- 石川県能登地方地震災害への支援金の件 …承認
- メーキャップの件 …大谷年度以降に説明する
- 出席免除者に関する件…承認
- 谷道年度予算執行状況の件…承認

報告事項

- 100名城看板費用最終金額¥1,259,500円
- 友好店の追加について（二口会員より）
- 5月のニコニコBOX寄付 130,000円
- 次回 決算理事会
7/11（火）12（水）河村さんとの監査予定日
7/13（木）以降